

以下の通り表記に誤りがありました。ご迷惑をおかけしましたことを訂正してお詫び申し上げます。

該当刷ページ	該当箇所	【誤】	【正】
初版～6刷 p.112	7行目	これはよくあるミスので	これはよくあるミス <b>な</b> ので
初版～11刷 p.123	(ステップ3) 青字の解説部分	$\frac{75}{84}x$ を <b>左</b> 辺に移項	$\frac{75}{84}x$ を <b>右</b> 辺に移項
初版～6刷 p.134	本文 3行目	645年 <b>に</b> 中大兄皇子と	645年の <b>乙巳</b> <sup>いっし</sup> の変をきっかけに <b>して</b> 、 中大兄皇子と
初版～12刷 p.190	本文 4行目	左辺と右辺を入れても	左辺と右辺を入れ <b>替</b> えても
初版～3刷 p.191	「例」の枠の下 3行目	<b>最</b> 小公倍数の8です	<b>最</b> 大公約数の8です
〃	下から4行目	<b>最</b> 小公倍数を	<b>最</b> 大公約数を
初版～3刷 p.194	1行目	$x^2 + (a + b) + ab$	$x^2 + (a + b)x + ab$
初版～7刷 p.198	下から4行目	$7a$ の <b>2倍</b>	$7a$ の <b>2乗</b>
初版～5刷 p.223	枠内(ステップ3) 4行目	$x^2 - 20 + 96 = 0$	$x^2 - 20x + 96 = 0$
初版～2刷 p.254	下から3行目	$8 \times 18 \times \sim$	$18 \times 18 \times \sim$
〃	〃	$\frac{1}{18} \frac{9}{18} \times \pi \sim$	$\frac{1}{18 \times 18} \times \pi \sim$
〃	下から2行目	$\frac{\text{径} \times \text{半径} \times \text{円周率}}{\text{円の面積}}$	$\frac{\text{半径} \times \text{半径} \times \text{円周率}}{\text{円の面積}}$
初版～7刷 p.278	図4		
初版～7刷 p.279	図5、図6		
初版～3刷 p.284	中央の枠内 下から2行目	1つの頂点に集まる <b>三角形</b>	1つの頂点に集まる <b>正方形</b>
初版～13刷 p.293	下の枠内 1行目	「 $\angle a = \angle b$ のとき、 $l \parallel m$ (錯覚が等しい)」になる理由	「 $l \parallel m$ のとき、 $\angle a = \angle b$ (錯覚が等しい)」になる理由
初版～13刷 p.378	1行目、4行目	円周 <b>率</b>	円周 <b>角</b>
初版～11刷 p.463	下から9行目	なお、 <b>イタリア</b> の天文学者ステヴィン	なお、 <b>オランダ</b> の <b>数学者・物理学者</b> ステ ヴィン